

信州木島平 糠千ロック(糠塚の岩場)

令和6年8月28日 RCT/K

2年程前カヤノ平の帰路、糠塚集落の山奥にあるという鉄平石の採石場が気になって大川に沿った林道に入ってみた。2Kmほど入ると突然谷が開け夏草が生い茂った採石場に出た。期待もせず見上げると、上部の雑木林の中に岩場らしきものが見えたので写真だけ撮り、生憎の雨模様でアプローチも分からなかったためそのまま帰宅した。

その後、あまり気にすることもなく時間が過ぎたが、今春確認だけはしておこうと思い行ってみた結果、全体的には乾きも良さそうで、ブッシュも少なくクラックやフェイスで構成され面白そうな感じはあったが、いざ近くで見ると浮石や脆い部分が多くクラック内も泥が詰まった感じで少なからず期待外れのイメージにとっかわった。

その後はいろいろと忙しく夏の暑さに負けて体調を崩してしまっただが、お盆も過ぎて何処か近場で乾きの良い岩場はないかと考えたところ、この岩場を思い出し、少しばかり遊べたら良い程度に思って掃除に出かけた。

一通り浮石を落としクラックの泥を掻き出してトライしてみると、意外と面白そうなラインも見えて、グレードは易しいものの思った以上に楽しむことができた。

岩質は安山岩で鉄平石の採石場だったこともあり板状に剥がれて割れることが多い。岩の高さは12m程度、現在フェイス系とクラック系を合わせて5本ほどのルートがある。浮石は大分落としたが不安定なホールドはまだ多い事からお勧めできるほどの岩場では無いことを明記したい。

アクセスは、木島平村の樽滝から上って糠塚でカヤノ平方面に入ったら直ぐに左に曲がり大川に沿った林道に入る、舗装からダートになるとまもなく明るい採石場跡に着く。駐車は採石場の広いスペースは木材の集積場になっていることがあるので、その先40m程進んだ道の両側のスペースに停める。夏は草が生い茂っているので鎌と虫除けスプレー必携である。

アプローチは、採石場跡の駐車スペースから南側の植林にトラヴァースすると、岩場下まで踏み跡があり、10分程である。



《ルート紹介》

1. **キミガタメ(5.10b)** NP&B1 中間部が脆いので1本ボルトを打った。上部はスモールカムなので確実にセットしたい。
2. **糠千クラック(5.9)** NP ダブルクラック。脆そうなホールドが多いのでジャミングの方が安心。ビレイは1と同位置。
3. **処暑の頃(5.10a)** B3 出だしのプレートハンガーはロープバーン防止用。スラブ状フェイスをカチホールドを使って登る。3と4のビレイは2ルート右の岩に設置したプレートハンガーにセルフをとり行う。
4. **散りゆく者への子守唄(5.10a/b)** B3 出だしのプレートハンガーはロープバーン防止用。下部は左のフレックを使用。上部は左足で立ちこみ終了点手前のレッジをとる。右上の木に1本目クリップ用のお助けスリングが掛かっている。
5. **糠千プラス(5.10a)** NP&B2 2から3ルートへのリンクルート。2の終了点手前から右にトラヴァースし3の2本目のボルトに合流する。

